

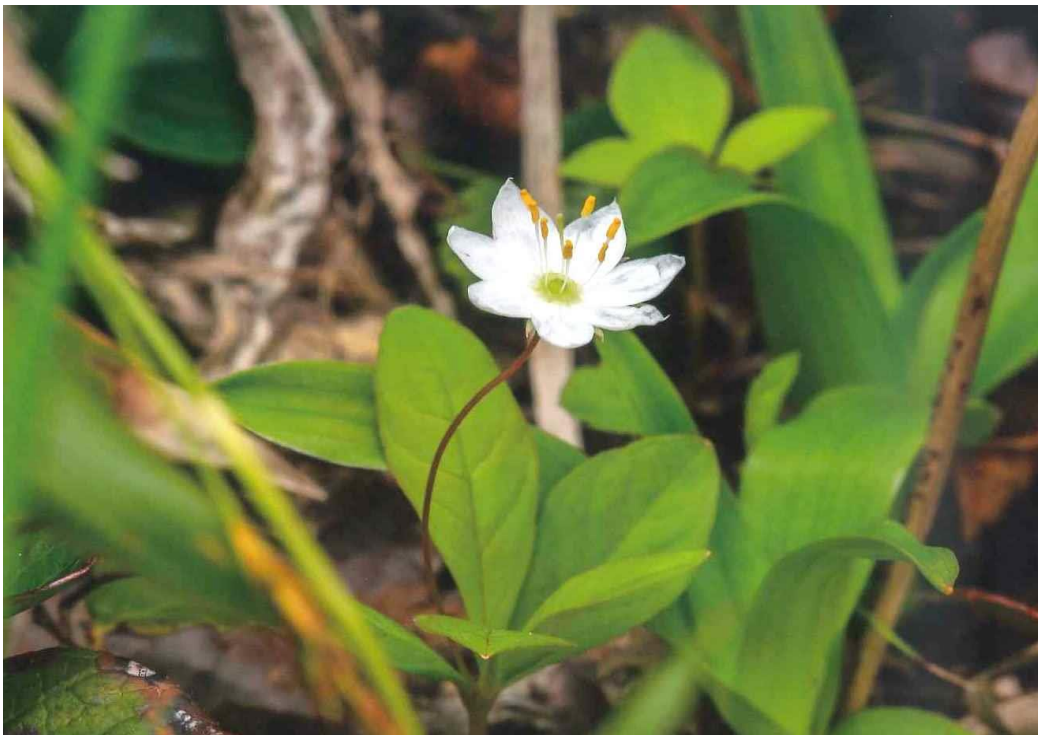


医療法人碧水会  
汐ヶ崎病院

# さざなみ

令和 4 年  
春季号  
第 68 号

〒311-1115 茨城県水戸市大串町 715 番地  
TEL (029) 269-2226 FAX (029) 269-4387  
<https://shiogasaki.net>



わがまへに天降りし如く妻取草  
つまどりそう

写真：坂本 伸一郎  
俳句：中村 恭子

## 目次 contents

- 表紙・目次 … 1P
- レク行事紹介 … 6P
- 認知症ケア連携フォーラム … 2P
- 池の花壇・  
新任職員紹介 … 7P
- 院長の本棚 … 3P
- 診療案内・  
汐ヶ崎ガーデン・  
表紙解説・編集後記 … 8p
- 病棟紹介 3 病棟 … 4P
- 病棟紹介 5 病棟 … 5P

## 基本理念

わたしたちは、こころを病む方や家族の皆様にご安心していただけるよう、よりよい精神科医療を提供し、地域に信頼される病院をめざします。

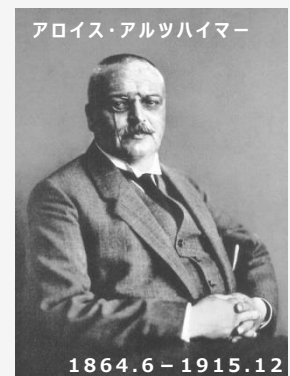
# 認知症ケア連携フォーラム

令和4年2月9日、汐ヶ崎病院認知症疾患医療センター第5回認知症ケア連携フォーラムをコロナ禍のためオンライン形式でエーザイ株式会社と共催で開催いたしました。

今回は東京医科大学茨城医療センターメンタルヘルス科 東晋二先生に『アルツハイマー型認知症の治療＝現在と今後の展望＝』についてご講演頂きました。アルツハイマー型認知症には専門的な治療、薬物の研究開発と予防・環境調整の二つの視点が求められ、医療だけでなく福祉や介護など多面的に関わることが必要になっていきます。認知症疾患医療センターとして今後も専門医療の提供のみならず、医療・介護の専門職向けの講演会の開催や、本人・家族の交流の場作りや認知症サポーター養成などを通して地域包括ケアの一役を担っていきたいと思います。

## 講演要旨

アルツハイマー型認知症の脳の中で起こっている問題解決の糸口は、遡ること1906年アロイス・アルツハイマーが初老期認知症の患者の剖検結果から老人斑と神経原繊維変化、神経細胞の脱落を見つけ神経梅毒などと異なる認知症として報告したことから始まった。問題の解決には、細胞内外の異常な構造物（老人斑＝アミロイドβ・神経原繊維＝タウ）の蓄積を無くすこと、グリア細胞による炎症が病気本体であると考えられており、これらをターゲットとした新規治療薬の研究・開発が進められ、今後の治療戦略につながっていくだろう。まだ保険診療ではないが、アミロイドβPET・タウPETを受けることで量を検査すること早期発見の手段の一つとなっている。



では罹患しないためにはどうしたら良いか…アルツハイマー型認知症の危険因子（うつ・幼児教育・社会的孤立・聴力低下・運動不足・高血圧・喫煙・肥満・糖尿病）を改善すると認知症の1/3は予防可能である。危険因子を減らすために教育を受ける、食事療法、筋トレ・有酸素運動などの負荷の強い運動、難聴になったら補聴器をつける、社会的孤立を避ける、睡眠をきちんと取るなどライフスタイルの見直しなど予防活動が推奨されている。

しかし認知症になってしまい幻覚妄想状態・持続性の攻撃性・せん妄・興奮状態・易怒性などの症状、いわゆるBPSDの治療が必要になった時は、抗精神病薬を使用する場合がある。『かかりつけ医のためのBPSDに対する向精神薬使用ガイドライン第2版』では服用することによって錐体外路症状が出やすい・出にくい、過鎮静が起きやすい・起きにくい、糖尿病があると使用できないなどの使用注意が出ている。一方で過食・異食・徘徊・介護への抵抗などには効果が乏しいとも述べられている。

認知症にかかってしまっても、認知予備脳（脳の中に病理学的変化が存在していても認知機能を持ち耐える抵抗力）により症状を軽減できる人が一定数存在しており、認知症の人が住みやすい環境を整え『生き方のビジョンを持つ』つまり社会的関与が維持され、可能な限り目的と意図を持って生きることが許される社会にいれば心理的に安定して過ごせるのではないかと。生き方のビジョンを持たせる村づくりなどの試みが世界中で行われている。



## 「mRNA ワクチンの衝撃」

コロナ制圧と医療の未来

ジョー・ミラー 著

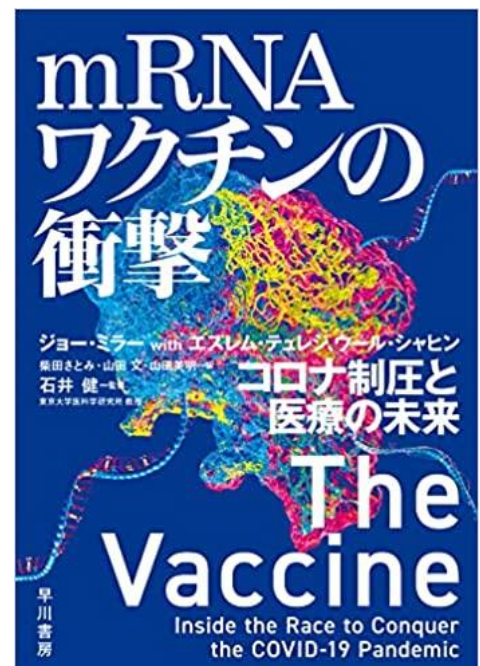
早川書房

新型コロナ感染症は未だホットな問題ですが、この未曾有のパンデミックに力強い武器として登場した mRNA ワクチンの開発をほぼオンタイムで取材したジャーナリストの実録本日本語版です。

中心的な登場人物はドイツのビオンテック社を創業し、腫瘍免疫学の研究者でもあるエズレム・テュレジとウール・シャヒン夫婦です。彼らはトルコからドイツへの移民の二世で、優秀な成績で医師となり、偶然の出会いとともに、がん医療を研究のターゲットとし、当初は余り注目されていなかった RNA、特に mRNA を利用した治療法を 10 年以上探索していました。

この感染症の報告を読んだ夫のウール氏の先験的で数学的な鋭い洞察により、新型コロナ感染症の爆発的な拡散を 2020 年の 1 月の時点で既に予測してワクチン開発に転じ、たゆまぬ努力や外圧への対応など多くの困難や難題を克服しつつ、わずか 11 ヶ月という信じられない短期間で、ワクチン<sup>じょうし</sup>上梓まで到達しました。通常、ワクチンは完成まで早くても数年間かかるとされていますし、今まで試されたことのない全く新しいタイプの mRNA ワクチンがあつという間に現れたことに、私も当初大変驚いたのですが、その背景にこのようなドラマがあったのか、というほどの出来事の数々がまとめられています。また、少し遅れて、RNA ワクチン開発の雄であるモデルナ社もタイプは少々異なるようですが同様の mRNA ワクチン<sup>じょうし</sup>を上梓しています。ほぼゼロから始めたビオンテック社の方が早く開発できたのは信じられないことです。提携したファイザー社の力もあるでしょうが、開発はビオンテック社ほぼ単独でなされており、驚異的です。

生物学の知識がなければ理解の難しい遺伝子のお話を最低限の基礎知識さえあれば理解できるように工夫された内容で、臨場感もたっぷりです。また、大変読みやすく翻訳されています。科学的発想だけでは実現し難い薬剤の臨床への上梓という複雑怪奇な緊張感も味わえます。



# 看護部 病棟紹介

# 3 病棟

## 社会復帰支援病棟 42床

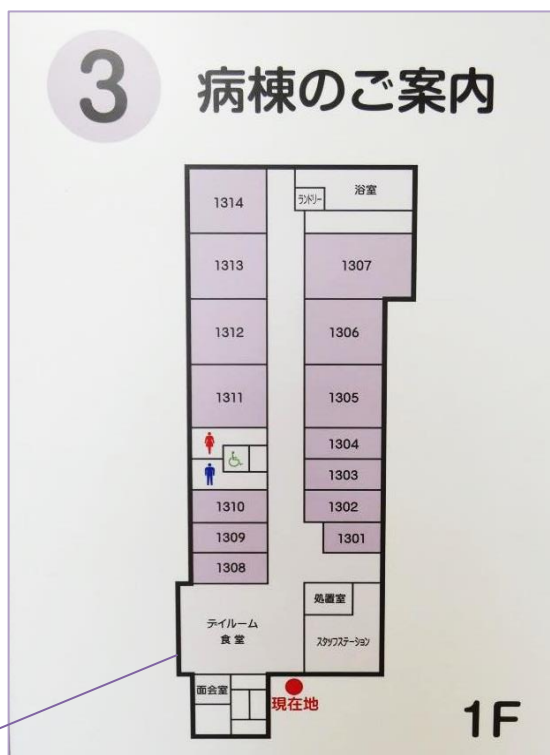


3病棟は開放の精神療養病棟です。

大きな窓から木々や花がいっぱいに広がった空間と、リラックスできる環境の中で静養していただきながら、精神療法・薬物療法・作業療法・認知行動療法などの治療を行い、それぞれの患者さんに合わせた退院支援を中心に他職種協働にて活動しています。

私たち看護スタッフも『心の癒しや安心感』を与えられるように、タイムリーなカンファレンスを実施し、より個別性を意識した関わりを展開しています。

病棟師長：磯崎貴亮



# 看護部 病棟紹介

# 5 病棟

高齢者病棟

51 床

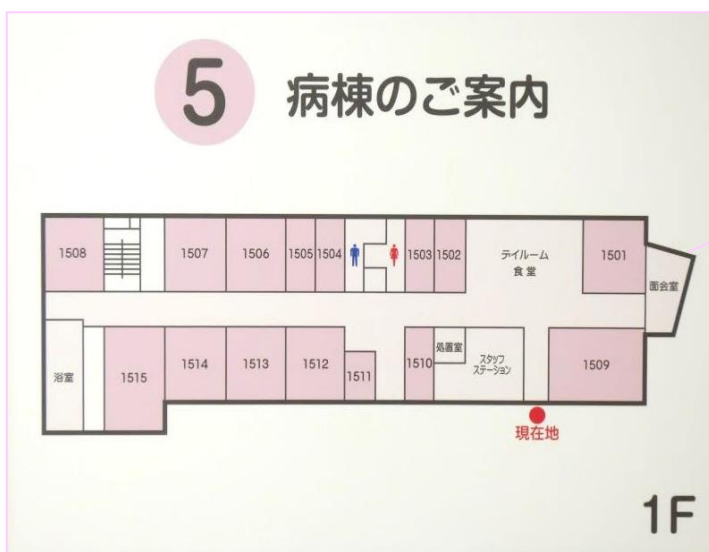
5 病棟は慢性期高齢者病棟です。急性期は脱したが一定の症状  
が残り長期入院されている高齢の方や介助が必要な方、また認知  
症疾患の方が入院されています。

高齢に伴い身体疾患も患っている患者さんも多く、精神面と身体  
面の観察・アセスメントが必要とされています。患者さんは自ら症状を  
訴える事が出来ない方もいるため、日々の変化を見逃さないようにし、  
些細な変化であってもスタッフ間で共有しアセスメントして早期発見に努めています。

また、ご家族とも患者さんの変化を共有できるように、PSW と連携を図っています。患者さんと  
ご家族が安心・安全に入院生活を送っていただけるように、より良い看護を目指しています。



病棟師長：栗原広美

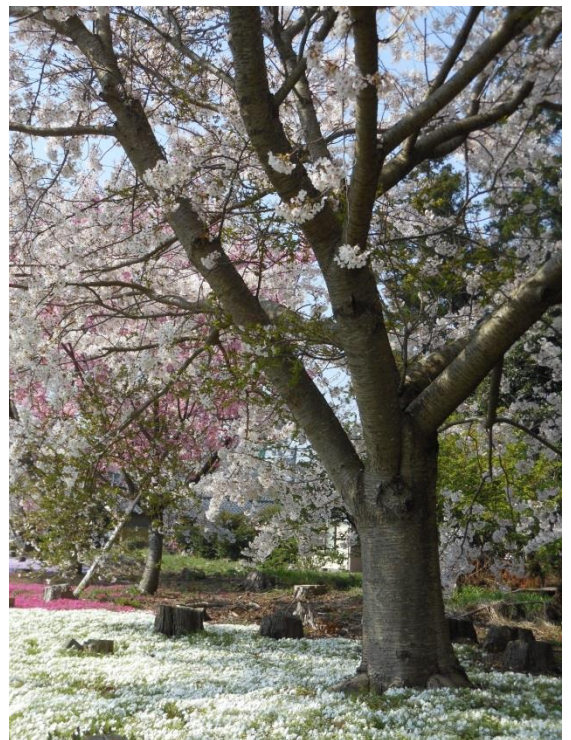
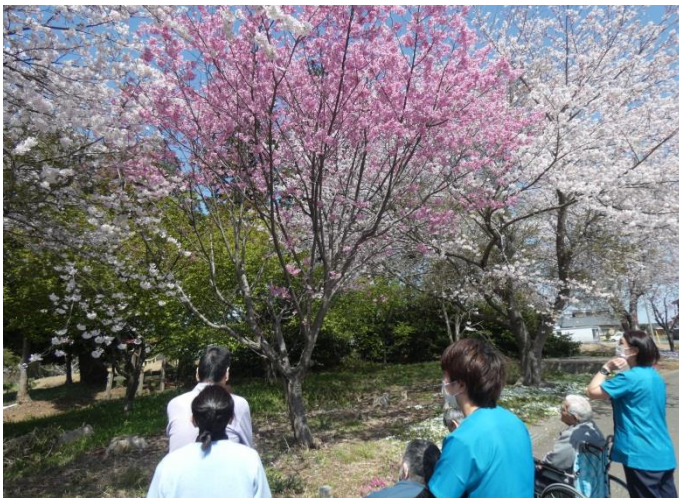


# レク行事紹介

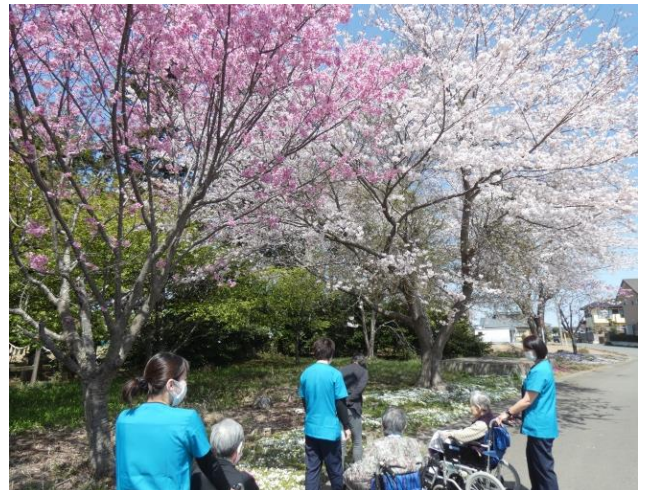
各病棟、小グループに分散して、お花見をしました。1・2病棟は「大串貝塚ふれあい公園」へ。



開花の時期、その日のお天気、そしてコロナ禍の状況を加味しながら計画したのですが、満開の桜…とはなりませんでした。外出が制限されている中、園内の散策は良い気分転換になったようです。



3・5病棟は、晴れた日に病院の敷地外を散歩しました。桜と芝桜の絨毯が、とてもきれいでした。



## 池の花壇

体育館脇にある「池の花壇」は設営からおよそ1年が経過しました。

季節に合わせた花が年間を通して変化する様子を職員も楽しんでいます。



昭和からここにある池の金魚たちも増えたり減ったり変化しています。

## 新任職員紹介



令和4年1月～3月に  
入職したスタッフです。

よろしくお願ひ致します。



令和4年1月

看護部  
小岩井 博



令和4年1月

栄養科  
小林 稔子



令和4年2月

栄養科  
入江 朋子



令和4年2月

看護部  
佐藤 一樹



令和4年3月

看護部  
斎藤 理佳子



## 診療案内

	月	火	水	木	金
精神科 心療内科	高沢院長	清水	高沢	三上	高沢院長
内科			佐藤 (診療応需)	佐藤 (診療応需)	
歯科			宮永		

## 診療時間

9:30～12:00(受付 8:30～11:30)  
13:00～16:00(初診・予約診療のみ)

## 予約受付

初診の方は事前の予約が必要です。ご予約のお電話は、平日のみ 9:00～11:30、13:00～16:30 に受け付けております。なお、他院からの紹介状がある方は必ずお持ち下さい。

## 休診日

土・日曜日/祝祭日/  
開院記念日(3/1)  
盆休(8/13～8/15)  
年末年始休(12/30～1/3)



汐ヶ崎病院  
(代表電話)  
029-269-2226

認知症疾患医療センター  
(専用電話)  
029-269-9017

## 汐ヶ崎ガーデン



新年度、桜が咲くと春を実感しますね。

近隣では「大串貝塚ふれあい公園」や、「六地藏寺」の桜が有名ですが、院内の桜もきれいに咲いてくれました。

ロータリー内の花壇も鮮やかに色づいています。



## 表紙・解説



表紙写真：ツマトリソウ

サクラソウ科の多年草。本州以北の高山に自生。高さは10cmほどで葉は長楕円形で両端がとがり、下部の葉は小さく卵形。5月～7月葉腋から長い花柄を出し、白色7弁の可憐な花を開く。

撮影場所：「秋田県森吉山」

撮影条件：CANON EOS 1D, EF180mm F3.5L MACRO USM, f14, 1/50sec. ISO200

## 編集後記

平素より「さざなみ」をご愛読いただき、ありがとうございます。本誌は、66号から季刊号になりました。これまで同様な4回の発行は変わりませんが、季節ごとに取りまとめた内容でご紹介したいと考え、春夏秋冬号で発行しております。今後ともご意見・ご感想等、皆さまの声をお聞かせいただけたら幸いです。広報委員一同、これからもより良い広報誌づくりに尽力してまいります。

さざなみ委員長：清水 由美子